

「外来維持透析患者の災害に対する意識の実態調査」

1) 医療法人財団はまゆう会王子病院

2) 医療法人財団はまゆう会相生リハビリテーションクリニック

溝部美希¹⁾ 渡邊貴子¹⁾ 大谷麻岐¹⁾ 渡邊千代子¹⁾ 箆島明彦¹⁾ 瀬川賀世子¹⁾

田中孝夫¹⁾ 市丸喜一郎¹⁾

【はじめに】

近年日本各地で災害が相次ぐ中、災害対策災害医療の重要性が高まっている。今回、災害対策マニュアルを作成配布した。配布前後でアンケート調査を行い災害に対する意識の変化を調査したので報告する。

【目的】

災害対策マニュアルを配布し災害対策について意識の向上を図る。

【方法】

維持透析患者 196 名を対象に、災害対策マニュアルを冊子で配布した。配布前後で、離脱方法、避難経路と避難場所、伝言ダイアルについて、食事の注意点についてアンケート調査を実施し、比較した。

【結果】

災害対策マニュアル配布前後のアンケート調査で離脱方法について知っている患者が 24%であったが、冊子の配布後には 40%となった。同様に、避難経路と避難場所は 32%が 65%へ、伝言ダイアルは 18%が 36%へ、食事に関しては 29%が 45%へ、全てにおいて意識の向上がみられた。

【考察および結語】

災害対策マニュアルを配布することで、意識を高めることが出来た。災害時冷静な行動がとれるよう、今後も継続的に、災害ビデオの視聴や避難訓練などが必要であると考えられる。